

ARAI NEWS

86年アライ レーシングスクール 総括

Actual Story From Inside.

83年6月から開校されたアライレーシングスクールも、4シーズン目を無事に終了しました。唯一のMFJ公認スクールとして、今年ものべ人数にして1,000人を越える卒業生を送り出し、神谷校長以下、スタッフもますます張り切っています。

つねつね校長が、アライレーシングスクールは単なるライディングスクールとは異なり、サーキットを楽しみて走るのではなく、どうしたら速く走れ且つ勝てるかを学んでもらうスクールである。と語っているように、年々内容もレベルアップして、ノービスクラスのリサルトには多くの卒業生の名前が見られます。その中には表彰台に登るようなライダーも何人か出て来ています。

そしてもう一つ今年に嬉しいことがありました。スクール卒業生の片山信二さんが全日本国際A級250ccクラスのチャンピオンを獲得したのです。片山さんは83年スクールが開校された当初に国際A級ながら自分の走りを見つめ直したいということで、ステージBに何度か参加し、その後はインストラクターとしてレーシングスクールに協力して頂いたことでもあります。片山選手は当時を振り返り「国際A級に昇格したばかりの時、回りのライダーが急に速くなったような気がしてかなり迷っていた部分があった。そんな時にアライでレーシングスクールを開校するということで参加させてもらったところ、神谷校長を初め毛利先生や清原先生と出会い、レースに対する心構えやトレーニング方法を教えてもらった。自分自身の走りの方向を示してくれたよ

うで、迷いも次第になくなり、速く走れるキツカケが掴めた。これからスクールに入校する人達も、ただ単に参加するだけでなく、自分自身で速く走るにはどうするかを真剣に考え、何かを掴み取ってやろうという貴族な気持ちで参加してもらいたい。」と語ってくれました。今年は念願の優勝に加えチャンピオンまで獲得と調子の波に乗って来た片山選手、ますます将来が楽しみなライダーに育ってききました。

世界GPに出場し日の丸を上げることの出来るライダーを一人でも多く育てること、これがスクール開校以来の目的です。片山選手がチャンピオンを獲得したことにより一歩近づいてきたようです。これに続くようなやる気あるライダーが、何人も巣立っていきつてくれることをアライでは期待しています。



来年度も筑波、菅生、中山、各サーキットを中心に今年よりもさらにグレードアップして開校していく予定です。事務局のスタッフハウスでも未来への夢を託して三井代表を初めとするスタッフ一同が、来年度もチャンピオンの卵を一人でも多く育てたいと希望に燃えています。

ヘルメットだけでなく、トータルな意味での安全を、そしてモータースポーツの健全な発展を願うアライは、こんなすばらしいスクールを影ながら応援し続けることを誇りに思っています。そして、いつの日か世界GPでスクール卒業生が日の丸を上げるという夢が、また一歩、実現へ近づきつつあると感じています。



お問い合わせ先/〒114 東京都北区王子4-23-8
スタッフハウス内アライレーシングスクール事務局
TEL.03-914-9411